



勉強に対するモチベーションの上げ方

学生講師 松下友哉

突然ですが、「最も効率よく英語を上達させる方法」って何だと思いませんか？今、皆さんが毎日やっているような教科書を読み込み、真っ黒になるまで問題集を解きまくることでしょうか？それとも海外に住むことでしょうか？どちらも、おそらく不正解です。

正解は、「英語しかしゃべれない恋人を作ること」だと言われています。大好きな恋人と早くコミュニケーションを取りたい、というモチベーションから自分から積極的に学べるようになると言われていています。ここで僕が言いたいのは、外国に行って恋人を作れ、ということではなく、自分で勉強に対するモチベーションを保てる理由、さらに言えば勉強を楽しめる理由を探してみましょう、ということです。



今皆さんの勉強をする理由というのは、「受験に受かるため」というのが一番大きなところだと思います。もちろん、大学でやりたいことが明確に決まってい、そのためだと思えば、自然とやる気になれる、という人もいます。

しかし、そうではない人が大半です。さらに言えば、それでやる気を出せる人も、勉強を楽しめてはいないでしょう。ですから一度、「受験のため」、「将来のため」、という考えは捨ててしましましょう。

「好きな洋楽のアーティストの歌詞の内容をもっと詳しく知りたいから」という理由で英語を学んでみてはどうでしょうか。「歴史的な建築物、美術品などにまつわる秘話を知っていた方が、旅行に行ったとき観光を楽しめそうだから」という理由で世界史、日本史を学んでみてはいかがでしょう。

「花火のきれいな色はどうやって出しているんだろう」と一度、気になれば、化学に少し興味がわくのではないのでしょうか。少なくとも「受験のため」よりは楽しく学べるのではないのでしょうか。

僕自身、もともと勉強は死ぬほど嫌いで、一日5分間机に向き合えばいい方でした。そんな僕が、受験勉強を苦なく終えられたのは、そのような心境で勉強するようになったからです。

僕の場合は、水泳をやっていました。そこで速く泳ぐために、最も効率よく体内でエネルギーを産生する方法って何だろう、って考えだしたときから、生物を学ぶのが「受験」のためではなく「趣味」のためになりました。

そのエネルギーを最もきちんと水に伝えるためには、と考えたときから物理を学ぶことに対するモチベーションが上がりました。今ではその知識を毎回のメニュー、練習に反映させています。

人の好きなものはそれぞれ違い、勉強をするのが好きな人ばかりではありません。音楽を聴くことが好きな人、体を動かすのが好きな人、旅行に行くのが好きな人。ですが、どうせ勉強をしなければいけないのは一緒なので、少しでも楽しむために、自分の好きなことと勉強を結び付けてみてはどうでしょうか。

趣味に活かすことが、勉強を楽しむための第一歩かもしれません。